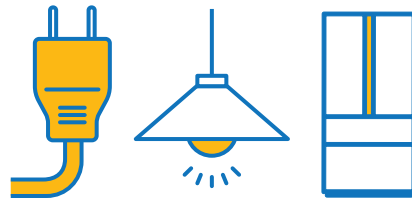




地震後の生活を守るために



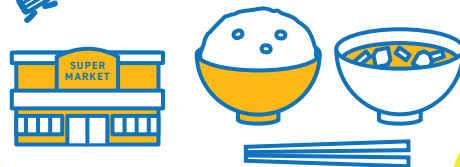
電気が止まったら...



水が止まったら...



買い物に行けなくなったら...



地震後の生活を 守るために

令和6年1月の能登半島地震で、過去の震災の記憶がよみがえった人は多いのではないのでしょうか。予測できない地震に対しては、家の中の安全対策を進め、とっさの判断で迷わない知識を持ち、自分で身を守るしかありません。また、発災当初の混乱の中では、行政の支援が行き届くにも時間がかかります。地震から大切な命を守るために、今から始めておきたい備えを紹介します。

問 危機管理課 ☎(082)420-0400

地震が発生すると ライフラインが止まる場合があります

ライフラインが復旧するまでにかかる日数 ※平成23年3月東日本大震災の場合



災害によって、電気、ガス、水道が停止する可能性があります。また、道路や鉄道が被害を受けることで物流が止まり、物資が不足する事態に。各家庭の状況に合わせた準備が必要です。



東広島で地震が起きたら…



広島地方気象台
南海トラフ地震防災官
うちだ しろういち
内田 祥一さん

最大で震度6弱、突然の揺れに襲われる可能性も

今後30年以内に70～80%の確率で発生が予想される南海トラフ地震。その規模は最大マグニチュード9レベル、東日本大震災と同程度の揺れが西日本を襲うとして防災体制の構築が進められています。市内沿岸部や西条盆地などの平野部では

最大震度6弱の揺れの可能性があります。また平成13年の芸予地震のように安芸灘の地下50km付近を震源とする地震の可能性も。震源地が近いため突然の揺れに襲われることとなります。黒瀬断層帯の危険性は不明ですが注意が必要です。

地震から命を守ろう

地震の揺れを感じたり、緊急地震速報を見聞きしたりしたときは、身の安全を最優先に。いつどこで地震が起きても冷静に行動できるように、注意するポイントを覚えておきましょう。



屋内の場合

- 激しく揺れているときは頭を保護し、大きな家具から離れ、丈夫な机の下などに隠れます。揺れが収まったら避難を。
- 人が大勢いる場所では、慌てて出口や階段に走り出さないようにしましょう。



屋外の場合

- ブロック塀の倒壊、看板や割れたガラスの落下、落石やがけ崩れに注意し、その場から離れます。



乗り物に乗っている場合

- 運転中の場合、急ブレーキをかけず、緩やかに速度を落とします。大きな揺れを感じたら道路の左側に停止します。
- 鉄道やバスなどに乗車中の場合は、つり革や手すりにつかまります。
- エレベーターでは最寄りの階で停止させ、すぐに降ります。

避難するときは

市が開設した避難所へ行くほか、安全な場所にある親戚宅などへの避難も考えてみましょう。避難する際は、防災セットや個人で必要なものを持参してください。家を出る前にはブレーカーを落とし、電気が復旧したときに家電の作動で起こる火災を防ぎましょう。

ペットの災害・避難対策

ペットとの同行避難は、原則屋外での受け入れです。避難に備えて日ごろからえさやペット用ケージを準備し、避難環境に慣らしておきましょう。



災害時の
備えについて家族で
話し合っておこう！



さいとう
齋藤さん
ファミリー



瀬戸内側でも津波が 早く到達することも

南海トラフ地震の影響で豊後水道や伊予灘の海底が動く可能性があり、その場合、津波の到達が早まります。安芸津町など沿岸部は要注意です。



土の中に水が多く 液状化の被害も

稲作が盛んな西条盆地は水分を多く含んでいます。近年造成された埋立地は土から水が抜けるのに時間がかかるため、まだ地盤が軟らかい可能性も。液状化による被害が心配されます。

地域防災リーダーに なりませんか？

地域の防災対策の推進や防災意識の啓発、自主防災活動の活性化を目的に、防災に関する知識と技能を持つ人を地域防災リーダーと

して認定しています(現在173人)。住民自治協議会の推薦を受け、養成講座の受講が必要です。次回は令和7年1月を予定。

「地震後の問題に備えよう」

地震が発生すると、さまざまな問題が起こることが想定されます。地震後も困らず自宅や避難所などで生活できるように日ごろから備えておきましょう。

やってみよう「しのばせ防災術」

災害時に役立つものを普段から使って、日常生活に取り入れましょう。バッグにもしのばせておくと、外出先でも便利に使えて、もしもの時にも備えることができます。



持ち歩きに便利な防災アイテムを紹介します。

東広島市防災士ネットワーク 代表
いのうえ ようこ
井上 葉子さん



電気が止まった!

ライトやバッテリーなどを準備

電気が止まると、冷蔵庫の中の物が腐るなどさまざま影響が考えられます。特に困るのが、明かりがなく暗いこと、スマホが充電できず情報が得られないことです。



ライトやモバイルバッテリーは、太陽光で充電ができるものを選ぶと◎。外出時でも充電でき、電気が止まった災害時にも便利です。

これならできそう!



●LEDライト

家のあちこちに懐中電灯を準備。特に枕元やよくいる部屋に置くようにしましょう。

●カセットコンロ

電気やガスが止まったときも調理ができるように、カセットコンロとガスボンベを備えておきましょう。

買い物に行けない!

普段も食べて備蓄を買い足し

普段食べているものを多めに買い置きし、食べた分だけ買い足して一定量を備蓄するローリングストックがおすすめ。長期保存できるカンパやアルファ化米、タンパク質が取れる缶詰なども備えましょう。

やってみよう!



備蓄量の目安

1人 3日分



防災用品購入補助金

購入金額の2分の1(上限1万円)を補助。対象は75歳以上の一人暮らし、要介護4以上に認定されるなど自ら避難することが困難な人。



栄養補助食品バーはおやつにも非常食にもなります。ポーチにめ玉をしのばせておくのもおすすめ。

水が止まった!

飲料水と生活用水を備蓄

飲料水の備蓄量の目安

1人当たり
① 3リットル
×
3日分



飲料水は、賞味期限の確認も兼ねて、普段から少しずつでも使いながら買い足しましょう。生活用水は、湯船に水をためておいたり、蛇口付きの給水用タンクを備えたりしておきましょう。

災害時協力井戸制度

災害での断水時に限り生活用水として無償で提供することが可能な井戸の登録を受け付けています。



登録しよう!



普段から小さめの水筒を持ち歩いて水分補給に利用。水をくむときにも使えます。

トイレが使えない!

非常用トイレセットの備蓄量の目安

1人当たり
① 5個
×
3日分



非常用トイレはバッグの底に敷くようにして入れておくとかさばりません。

非常用トイレセットを備蓄

トイレが壊れることや、断水や排水不可で使えなくなることがあります。非常用トイレセットを備蓄しておきましょう。トイレットペーパーも必要です。

衛生面が気になる!

体の清潔

長期間、入浴できない可能性もあります。ノンアルコールのウェットティッシュがあれば体を拭いたり歯磨きしたりすることも可能です。



ウェットティッシュはアルコールがあるものとないものの2種類を用意。ゴミを入れるなど用途がさまざまなポリ袋も便利。

体調管理

下水道が被害を受けると、空気中に菌がまん延することがあります。避難所での集団生活も想定し、感染症予防や体調管理のためにマスクが必須。避難所では土足禁止のため、靴下やスリッパも必要です。



きれいにしよう!



日焼け予防手袋や防寒用手袋は軍手代わりに、手から奪われる体温を守ってくれます。バッグの底にカイロも◎。

もっと知りたい!

生涯学習まちづくり 出前講座

申請があった地域の集会所や学校などに危機管理課職員が出向き、講座を行っています。

防災講演会

全市民を対象に、防災をテーマにした講演会を実施しています。今年度の実施は秋、テーマは地震を予定しています。

詳細や申し込み方法は
こちら



講座番号: 95
テーマ:
防災の基礎知識
※日程は要相談



ラジオで詳しく
紹介します!

FM東広島 (89.7MHz)

6月の毎週
水曜日18時台



スマートフォンでも聞けます▲

